

「はじめてのイタリア6日間(世界遺産の街～路上駐車街)」①

No.38 鷺海拓也

ヨーロッパ方面への旅行(3月27日～4月1日)は初めてである。5か所の「世界遺産」が含まれており、水の都「ベネチア」は映画で舞台としてよく使われていて、憧れの場所である。

3月26日(水)

翌日の「新飯塚」の始発(5時27分)に乗車するために、博多ではなく新飯塚に前泊する。ホテル代が安いのと、北九州マラソンと一緒に走ったメンバーと「打ち上げ」をする為である。福岡空港国際線の集合時間が7時30分で、当日に田川から乗り継ぐとギリギリである。

以前、ベトナムに行く時も博多に前泊するが、地下鉄の5分を含めて国際線に到着するのに40分もかかった。大きなトランクを抱えた旅行者で、「シャトルバス乗り場」に長い列が出来ていて焦った経験からこの様にした。お陰様で楽しい「打ち上げ」を楽しむ事が出来た。

3月27日(木)

始発に乗って国際線ターミナルには集合時間の1時間前に到着出来た。

9時30分の上海行に乗って2時間15分、そこで乗り継いでローマまでは12時間35分の行程となる。上海空港で約2時間の乗り継ぎ時間があったが、連絡列車での移動があり、一旦中国への「入国審査」を受けないといけないのであつと言う間であつた。

2年前にカナダに行った時に、隣や後部座席の乗客がテーブルでゲームをやって、ガタガタとうるさく、肘が当たり座席も揺れて一睡も出来なかった経験があつたので、初めて「ビジネスクラス」を利用した。快適であつたが、利用便の「中国東方航空」のビールがあまり冷えてなく、また3度の食事が出るので小食の私達は残さない様に頑張る必要があつた。それと安全確認のために「スーツケース」の鍵は掛けない事や、もし検査された時には荷物の到着が遅れるので、1泊分の荷物は手荷物として機内に持ち込むなどがあり、快適さに不安が同居していた。

ローマ到着。足を伸ばせて静かに休めたので疲れは残っていない。後はホテルまで20分程の移動を残すのみだったが、12歳未満の子供は「電子ゲート(自動入国システム)」を利用できないので、この家族を待つのに30分を要した。後で聞くと、この男の子はみんなを待たせている事をすごく気にかけている事を知ったので、声を掛けて友達になった。素直な子であつた。

I泊目:THE SEASER ROMA(シーザーホテル)

ホテルの部屋は広くて快適であつた。冷蔵庫も金庫もある。部屋飲みするのにグラスを探すが、冷蔵庫の中に紙コップが冷えてあるだけだった。バスタブもあつたのだが、みんなが同時に使用するとお湯が出なくなると言われてシャワーにする。壁から何の表示もなく、ヒモがぶら下がっている。添乗員から「非常用だから絶対に引っ張るな」と言われていたが、気になる・・・。

3月28日(金)

ローマからピサへ。

357kmの移動である。所要時間は約5時間。イタリアのバスは2時間の運転につき30分の休憩が定められており、私たちには休憩と買い物を楽しむ事が出来た。ピサ到着後は、昼食の為にピサの「洗礼堂」、「ドゥオーモ(教会堂)」、「斜塔」などを横目にレストランへ直行。ボロネーゼや豚料理を美味しく頂くが、パスタはこちらの主食なので意外とあっさりとしていた。

オプションで「斜塔」に登る。高さ55m。大理石で出来てあり、目の前で見ると迫力がある。296段の階段もちろん傾いており、傾斜の低い側は何人もの人が通った為なのか、すり減っていて登りにくかった。ビールとワインを楽しんだ後だったので、家内はフー、フー言っていた。

手前にある👉「洗礼堂」も傾いている事は知らなかった・・・。

